

未来に夢ひろがる地域の学校

福井市棗中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項 目	回 数
地域・学校協議会	3 回
中学校区を単位とした協議会	5 0 回
地域及び家庭への学校公開	2 5 回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	2 4 人
授業ボランティア（含：低ボラ）	2 0 人
登下校支援ボランティア	1, 5 0 0 人
その他（部活動外部指導者）	1 人

(3) 特色ある活動

テーマ ふるさと教育

① らっきょう切り（7/1）

棗地区伝統のらっきょう切りを全校生徒、棗小 4、5、6年、保護者、地域の方の応援で実施した。縦割りグループで8班に分かれ、1班100キロ 越え！を目標に、6時間の長丁場にもかかわらず作業を行った。また生徒会が「らっきょう体操」を考案し、紹介を兼ねて参加者全員で行った。収益金は部活動や生徒会活動のために利用した。

② 学校祭体験活動講師に地域の人材活用(9/9)

ピラティス、大正琴、竹とんぼ作り、茶道、理科実験の5講座を開設し、その講師に公民館等で指導をしている地域の方を招くとともに、茶室の自宅開放も行ってもらえた。



③ マイ弁当（6/22、11/11 2回）

1 昨年より実施したPTCA主催の「マイ弁当の日」を今年度は2回実施した。生徒がお弁当づくりに主体的に関わることで食への関心を高め、家族への感謝や苦勞を感じる機会とする目的で行った。姉弟が前日から計画し、協力して朝早くから調理したお弁当を楽しく食べる生徒、朝自分で作れなくせめて弁当箱洗いは自分でしようと反省する生徒など、その日はお弁当が話題となり家族との会話も増えたようである。

成果と課題

「自分のふるさとに愛着を持つ子ども」地域が期待する生徒の姿である。今年度は、棗地区の会社経営者の方に協力していただき、1、2年生を対象にキャリア教育を行なった。これからは教科、領域等でも地域の人材活用にとさらに取り組み、棗の未来を託す子どもたちという地域の思いを生徒に認識させ、地域の一員としての自覚をさらに高めさせていきたい。そのために学校で取り組める活動の洗い出しを行い、教科、領域等でも地域の方々をゲストティーチャーとして活用しながら、教材開発を行っていきたい。

